

平成25年度第3回野菜需給・価格情報委員会の概要

1 日時

平成26年3月14日（金）13：30～15：30

2 場所

独立行政法人農畜産業振興機構 南館1階会議室

3 概要

「平成25年産秋冬野菜の需給・価格の実績」（資料1）の説明の後、春野菜の需給・価格の見通しについて、3月7日開催の消費分科会で出された意見等を踏まえ意見交換。その概要を藤島座長が取りまとめ、各委員に了承を得た上で、3月20日開催の平成25年度第3回野菜需給協議会に報告することとなった。

春野菜の需給・価格の見通しに関する各委員からの意見は以下のとおり。

（1）春キャベツ（4～6月）

① 供給見通し

- ・ 作付面積は、前年並みの見込み。愛知では他品目からの転換等がみられる。
- ・ 生育状況は、千葉は、生育は概ね順調であるが、一部のほ場で2月前半の突風の影響で遅れる可能性がある。神奈川は、生育は概ね順調である。愛知は、大雪で気温が下がったものの、その後適度な降雨もあり、生育は順調、大玉傾向である。
- ・ 出荷量は、4月は、3月の気温上昇により、神奈川で前進出荷となり、前年を上回り、5月は、多かった前年を下回り、6月は少なかった前年を上回る見込み。

② 需要・価格見通し

- ・ 価格は、4月は順調な出荷となり安かった前年並み、5月は平年並みの出荷となり安かった前年を上回り、6月は順調な出荷となり高かった前年を下回る見込み。
- ・ 加工・業務用においては、加工歩留まりの良い寒玉系が好まれるため、この時期は茨城の中間種が出荷されるまでは、輸入物で対応することが多い。

（2）春だいこん（4～6月）

① 供給見通し

- ・ 作付面積は、前年並みを見込む。
- ・ 生育状況は、千葉は、2月の降雪、強風の影響で下位等級品の発生が増えることが懸念される。長崎は、播種も順調に進み、生育は前進傾向となっている。
- ・ 出荷量は、4月及び5月は千葉が降雨で播種が順調にできなかったことから前年を下回り、6月は少なかった前年を上回る見込み。

② 需要・価格見通し

- ・ 価格は、4月及び5月は、出荷が減少することから、安かった前年を上回り、6月は平年並みを見込む。
- ・ 加工・業務用では、この時期は九州産地との契約が増加傾向にある。

（3）たまねぎ（4～6月）

① 供給見通し

- ・ 作付面積は、北海道及び兵庫は前年並み、佐賀は、前年をやや下回る見込み。
- ・ 生育状況は、佐賀は、定植時期の降雨、低温により遅れていたが、現在は回復している。兵庫は、中晩生種が遅れているが、生育は回復している。

- ・ 出荷量は、前年は、府県産が豊作で出荷量が多かったことから、全体では前年を下回る見込み。
 - ② 需要・価格見通し
 - ・ 価格は、府県産の出荷が前年を上回るが、北海道の残量が少ないことから、安値であった前年を上回る見込み。
 - ・ 加工・業務用では、この時期に使用する北海道産の残量が少ないことから、輸入物のニーズが高まる。また、外食産業では従来見られた中国産取扱への抵抗感が、小さくなっている。
- (4) 春夏にんじん（4～7月）
- ① 供給見通し
 - ・ 作付面積は、徳島は前年並み、千葉は新たな指定産地が増えたことから、前年をやや上回る見込み。
 - ・ 生育状況は、徳島は、年内から年明けの低温で生育が停滞していたが、その後の好天により生育は回復して1週間程度早くなっている。千葉は、降雪で播種ができなかったため、播種作業が平年に比べて10日程度遅れている。
 - ・ 出荷量は、4月は出荷が多かった前年を上回り、5月は徳島産の4月への前進化で下回る見込み。6月は千葉産のピークがずれ込み前年を上回り、7月は前年並みの見込み。
 - ② 需要・価格見通し
 - ・ 価格は、4月及び7月は前年並みとなり、5月は出荷のずれ込みで少なくなるため前年を上回り、6月は出荷が増えることから、前年を下回る見込み。
 - ・ 加工・業務用では、この時期の国産のにんじんは小ぶりで歩留まりが悪いため、中国産で対応する傾向が強い。
- (5) 春はくさい（4～6月）
- ① 供給見通し
 - ・ 作付面積は、茨城は前年並みであるが、降雪の影響から一部定植ができないため減少する可能性がある。長野は、前年をやや上回る見込み。
 - ・ 生育状況は、茨城は、降雪の影響で遅れがみられる。長野は、降雪で播種・定植時期が遅れ、生育にも遅れが見られる。
 - ・ 出荷量は、4月は降雪の影響で生育が遅れるため前年を下回り、5月は、茨城の遅れた分が出荷されるために前年を上回り、6月は、長野の遅れた分が出荷されるために前年を上回る見込み。
 - ② 需要・価格見通し
 - ・ 価格は、4月は降雪の影響で生育が遅れるため、前年を上回り、5月は4月からずれ込むため、安かった前年並み、6月は長野の5月分がずれ込み入荷が多くなり、前年を下回る見込み。長野では、出荷の大幅増の見込みに伴う作付面積の調整の意向があり、この取組状況によっては、価格が前年並みとなる可能性もある。
- (6) 春レタス（4～5月）
- ① 供給見通し
 - ・ 作付面積は、茨城及び兵庫は前年並みであるが、長野は、やや前年を下回る見込み。
 - ・ 生育状況は、茨城は、降雪の影響で定植が1～2週間停滞し、現状では生育遅れもみられる。兵庫は、生育順調である。長野は、これから定植作業が始まり、4月の天候によって決定する。
 - ・ 出荷量は、全期間を通じて平年に比べてやや少ないが、前年並みの見込み。

② 需要・価格見通し

- ・ 価格は、前年並みの出荷となることから、全期間を通じて前年並みの見込み。
- ・ 加工・業務用では、降雪の影響で4月下旬から5月上旬分が減少し、国産品の確保ができないことも想定して、輸入品を確保する動きもみられる。